

歯科口腔外科

■ スタッフ

科長		乾 眞登可
副科長		野村 城二
医師数	常 勤	13名
	非常勤	2名
	研修医	4名

■ 診療科の特色・診療対象疾患

1. 特色

当科では、三重県の歯科・口腔外科の高次医療機関として、口腔疾患の治療を地域医療機関と連携して行うと共に、先進医療機関として歯科インプラントや特殊外来を設けております。悪性腫瘍（舌がん、歯肉がん、口底がん等）をはじめとする口腔領域全般にわたる疾患を対象とし、一般歯科治療や矯正歯科治療も行っております。

2. 主な診療対象疾患

1) 口腔外科疾患

悪性腫瘍、良性腫瘍、外傷、炎症、嚢胞、顎関節疾患、欠損（骨増生・インプラント埋入）、埋伏智歯、上顎洞及び唾液腺関連疾患など

2) 一般歯科疾患

高齢者や有病者、身障者の歯科治療、歯科治療困難な患者様の全身麻酔下での治療、う蝕処置、歯周管理及び口腔衛生指導、補綴処置など

3) 不正咬合・顎変形症、小児歯科疾患

上下顎前突、開咬、過蓋咬合、叢生、偏位などの不正咬合、外科処置を伴う顎変形症

4) 口腔粘膜疾患、口腔内科疾患、神経疾患など

■ 診療体制と実績

初診：月曜～木曜午前、手術：月曜及び金曜日、外来小手術：月曜及び水曜日午後。

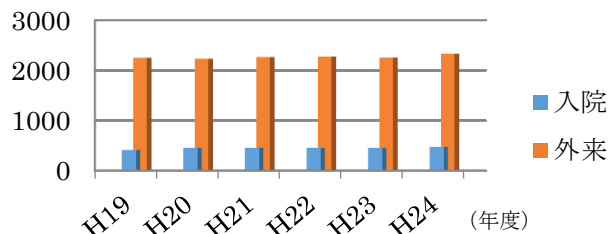
（公）日本口腔外科学会口腔外科指導医、専門医及び専修医、（社）日本がん治療認定医機構がん治療暫定教育医及び認定医（歯科口腔外科）、（公）日本矯正歯科学会認定医が常勤で診療を行っております。

また、三重県における関連病院（紀南病院、伊勢赤十字病院、三重中央医療センター、三重病院、榊原温泉病院、南勢病院、鈴鹿病院、いなば園、障害者歯科センター、あすなる学園）と連携をとり治療を行っております。

外来初診患者数（H24年度実績）：約200名／月、外来延べ再来患者数：約1900名／月、入院患者数：約30名／月、病床数：14床、外来ユニット数：14台、全身麻酔症例数：約20名／月、鎮静麻酔症例数：1～3名／月、外来小手術症例数：約60名／月。

＜外来初診患者数／入院患者数の推移＞

（人）



■ 診療内容の特色と治療実績

1. 診療内容の特色

悪性腫瘍や顎変形症、インプラント等の顎骨再建に対し歯科用CTによる三次元的画像診査、精密計測を行い、模型作製機（3Dプリンター）による模型モデルを積極的に作製しております。

また、高齢化社会の現在、様々な疾患を有する患者様の治療、口腔衛生指導の必要性が高まっており、地域医療施設と緊密な連携を行い診療にあたっております。さらに、重度の障害、嘔吐反射、アレルギー既往などのため、通常の歯科診療を受けることが困難な際は、入院して全身麻酔下または鎮静麻酔下での治療を行っています。

近年、がん手術や心臓・循環器手術、臓器移植等の手術、あるいはがん化学療法、放射線治療時には、口腔衛生状態の改善が、術後の創部感染、術後肺炎等の合併症予防や口腔粘膜炎症の予防に有効であること、また早期回復による在院日数の短縮などに寄与することが認知されてきており、当院でも平成25年6月より口腔ケアセンターを設立し、口腔衛生管理への本格的な取り組みを開始しております。

インプラント治療としては、年間に約50例、150本の埋入手術を行っております。当科におけるインプラント治療の特色は埋入時に骨増生手術を必要とする例が多く、約50%が併用例です。骨増生術はGBR、ブロック骨移植術、上顎洞底挙上術（サイナスリフト、ソケットリフト）、顎骨延長術等をそれぞれの例に応じて行い、十分な骨を確保した後インプラント埋入を行っています。現在までのインプラント残存率(Survival rate)は約96%、10年累積残存率は約92%となっております。

一般矯正治療では成人矯正の割合が高く、外傷後やインプラント補綴前など適応範囲が広がりつつあります。顎変形症などの外科処置を伴う治療以外に、マイクロインプラントをより積極的に使用した治療を行い各不正咬合に対応しております。

2. 診療実績

<入院患者数（平成24年度実績）>

【悪性腫瘍】	39
【良性腫瘍】	41
【外傷（プレート除去含）】	35
【炎症】	26
【嚢胞性疾患】	37
【顎関節疾患】	1
【埋伏智歯】	86
【口腔粘膜疾患】	2
【上顎洞関連疾患】	6
【唾液腺関連疾患】	9
【入院下歯科治療症例】	64
【インプラント関連】	16
【顎変形症】	2
合計	364

<主な手術件数（年間入院症例）>

【悪性腫瘍】	21
【良性腫瘍】	21
【顎骨骨折】	32
【嚢胞性疾患】	36
【顎関節疾患】	1
【埋伏智歯】	89
【上顎洞関連疾患】	6
【唾液腺関連疾患】	6
【歯科治療】	61
【欠損（インプラント関連）】	16
【顎骨骨髓炎】	12
【顎変形症】	2
合計	294

臨床研修教育

臨床研修の目的は、口腔領域の医療と保健指導に関する総合的な知識と技術を体得させ、さらに医の倫理を修め、国際社会に適応しうる歯科医師を養成することです。医学部附属病院としての特性を生かし、医科との連携を密にし、研修プログラムに麻醉

科研修を取り入れております。

これまでの臨床研修医受け入れ実績は、H20年度9名、H21年度6名、H22年度1名、H23年度5名、H24年度5名、H25年度4名です。

今後の展望

- ① 地域医療及び他科連携の更なる推進
- ② 口腔ケアセンター設立と推進
- ③ 口腔癌治療及び治癒率の更なる向上
- ④ インプラント治療の増加

口腔ケアセンターの設立により地域歯科医院、病院、当院他科との連携が深まり、口腔疾患、特に口腔がんの早期発見が可能となります。それにより口腔がんの治癒率の向上が期待されます。さらに、口腔インプラント等を用いた口腔・顎顔面の機能再建にも積極的に取り組んでゆく予定であります。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/>（ホームページ）